

通し番号	4917
------	------

分類番号	30-44-12-04
------	-------------

無加温パイプハウスで直売向けのアネモネを春彼岸時期に出荷できます

[要約]

アネモネ‘デ・カーン’を無加温パイプハウス内で10月下旬に定植すると、1月中旬から収穫が始まり収穫ピークは3月中下旬になる。

堀上球根(2年目)の利用が可能で、収穫本数は購入球根(1年目)より大幅に増加する。また、無加温パイプハウス内にトンネルを設置すると、切り花長がやや長くなる。

神奈川県農業技術センター・生産技術部

連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

無加温パイプハウスで直売向け花き品目として有望なアネモネについて、春彼岸時期に出荷するための栽培条件・定植時期等を検討する。

[成果の内容・特徴]

- 1 収穫開始は10月下旬から11月中旬定植では1月中旬、12月上旬定植では2月上旬となり、収穫のピークはいずれも3月中下旬となる。11月中旬以降に定植すると、10月下旬定植と比較して収穫本数は著しく減少する(表1)。
- 2 施設の有無やトンネル被覆の枚数に関わらず、収穫開始は1月中旬、収穫のピークは3月中下旬になる。露地では切り花長が収穫期間を通してほぼ20cm未満となる(表2)。
- 3 堀上球根(2年目)は購入球根(1年目)より収穫本数は倍増するが、切り花長はほぼ同等で切り花重が軽く、茎が細くなる。パイプハウス内にトンネルを設置すると花茎長はやや長くなる(表3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 球根は吸水させ、発根したものを定植した。
- 2 ベット幅85cm、株間24cm、条間20cm、3条植えにすると、ベット面積10m²あたり約150球定植できる。供試した‘デ・カーン’は、株あたりの収穫本数に個体差が大きいため注意する。
- 3 堀上球根(2年目)は購入球根(1年目)に比べ、切り花重が軽く、茎が細くなる。また、堀上球根を使うことで栽培コストが抑えられる。
- 4 トンネルはユーラックカンキ2号(2穴)を用い、トンネル高は70cmとした。2月中旬以降、晴天日の日中は換気のため裾上げをした。
- 5 4月以降も開花するが、気温が高くなるとがく片が速く展開し、花保ちが悪くなる。

[具体的データ]

表1 定植時期の違いが収穫本数に及ぼす影響 (本/株)

定植時期	1月		2月			3月			計
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
10月下旬 ^Z	0.2	0.4	0.4	1.0	0.8	2.4	5.5	5.4	16.1
	4% ^Y		14%			83%			100%
11月中旬	0.1	0.3	0.3	0.6	0.4	0.7	1.2	1.4	5.0
	8%		26%			66%			100%
12月上旬			0.3	0.6	0.3	0.5	1.2	1.4	4.3
			28%			72%			100%

パイプハウス内にトンネルを設置、被覆期間 H29/11/9~H30/4/3

Z: 定植日 10月下旬: H29/10/31、11月中旬: H29/11/13、12月上旬: H29/12/4

Y: 総収穫本数に対する割合 (%)

表2 栽培方法が収穫本数及び切り花長に及ぼす影響

項目	栽培方法		1月		2月			3月			計
	施設 ^Z	枚数 ^Y	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
収穫本数 (本/株)	あり	1	0.1	0.3	0.3	0.5	0.6	1.2	4.8	6.5	14.3
		なし	0.2	0.4	0.4	1.0	0.8	2.4	5.5	5.4	16.1
	なし	2	0.2	0.1	0.2	0.6	0.5	0.6	1.8	4.7	8.7
		1	0.1	0.2	0.1	0.5	0.5	0.3	1.6	4.6	7.9
切り花長 ^X (cm)	あり	1	13.3	11.7	8.4	9.7	17.8	22.3	26.2	26.1	23.7
		なし	17.9	24.1	16.8	20.2	25.0	27.0	29.5	29.1	24.3
	なし	2	10.4	16.3	11.2	8.6	13.5	14.1	19.9	21.3	18.8
		1	8.3	9.3	7.7	6.1	10.2	12.0	15.2	18.0	15.2

定植日 H29/10/30、トンネル被覆期間 H29/11/9~H30/4/3

Z: パイプハウス (無加温)

Y: トンネル被覆の枚数

X: 平均値、太字ゴシックは20cm以上の切り花

表3 株あたり収穫本数と切り花品質

球根年数	トンネル	収穫本数 (本/株)	切り花品質		
			花茎長 ^Z (cm)	切り花重 (g)	茎径指数 ^Y
1年目 (購入)	あり	11.7±7.2	24.4±3.8	6.7±0.9	5.5±0.3
	なし	9.1±5.9	20.7±3.4	5.6±1.4	5.3±0.5
2年目 (堀上)	あり	21.5±15.5	24.4±1.2	4.3±0.8	4.5±0.3
	なし	19.4±10.3	21.4±2.7	3.8±1.1	4.5±0.4

定植日 H30/11/13、トンネル被覆期間 H30/11/16~H31/3/30

Z: がく片付け根までの長さ

Y: 茎ゲージにより茎径を指数化して計測 4 (4mm未満)、5 (4mm以上5mm未満)、6 (5mm以上6mm未満)

[資料名] 平成28~30年度試験研究成績書

[研究課題名] 花き観賞樹の高品質・安定生産技術の開発

[研究期間] 平成28~30年度

[研究者担当名] 勝間田やよい、栢原知子

[協力・分担関係]